

三州産業(株)鹿兒島県 三州産業(株)鹿兒島県 ウス内で、特に冬場は光合成に必要な二酸化炭素量が不足するので、それを補うため炭酸ガスを供給するが主な機能だ。同社の従来製品は、SGR-3000が10年目。現在は、SGR-6000が発売から10年目。現在のハウス栽培には必需品となった光合成促進装置だ。熱量は21・3キロワット。SGR-6000は炭酸ガス発生量8・12キロワット、発生熱32・9キロワット。24時間のタイマー機能と濃度コントローラにより、ハウス内の二酸化炭素を感知し、自動で濃度調節を行う。濃度コントローラは、これまでオアション機能であったが、リニューアールに伴い標準装備され、ルーツなどを輸入する際に、植物防疫上必要とされる蒸気熱処理装置については、同社の製品が十数カ国で採用され、国内市場に安全性の高い果物を供給している。同社は葉タバコ乾燥機メーカーとして1948年に創業し、現在では様々な分野の製品を開発製造している。中でも海外から日本国内にマンゴーを輸入する際、植物防疫上必要とされる蒸気熱処理装置については、同社の製品が十数カ国で採用され、国内市場に安全性の高い果物を供給している。

光合成促進装置を発売

◇三州産業

同製品は、閉め切ったハウスのリニューアルとなった。



光合成促進装置 SGR-6000

表示部を大型化しつつ操作用手順を簡略化した。また、従来機のサイズより約20%コンパクトに設計され、安全対策としては、燃焼安全制御、二重過熱防止、送風機タイマーなどの機能を兼ね備えている。

先日その功績が認められ、経済産業省が認定する「2020年度版グロバルニッチトップ企業100選」に選ばれた。

製品問い合わせ 099・269・18